

江東・千葉支部 地本家族会解散大会

国労ちば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 加藤 晃一
編集 高橋 弘幸
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

歴史ある国労で、
共にガンバロー

12月3日、みどり寿司において「江東支部・千葉支部・家族会の解散に伴う式典」が開催された。司会の松田副委員長より凍結から6年が経過し組織人員の減少や分会再編により解散に至る経緯が説明された。

その後、加藤委員長が会社はその道のプロより広く浅い知識を持った何でもできる社員を求めている。今は悩み事がある。今後は若年退職者が相次いでいる。今年最後の国鉄採用者が退職を迎える節目の年となった。体制強化や若い世代に運動しやすい環境を整える

ためにも分会再編を行ってきた。今回の解散も前向きなものとしていきたいとあいさつ。

石井江東支部委員長、石橋千葉支部委員長、大和田家族会会長があいさつし、鈴木会計監査員より会計報告を受けた。飲食店と言ったこともあり他の利用客もいることから「団結ガンバローではなく、一本締めで終了した。」

その後は飲食を交えながらの歓談となり、出席者18名が国労運動の思い出話や近況などを含め自己紹介。今後の国労運動の思いを新たに解散式典は終了した。



かずさ住民の足を 守る会総会

11月11日木更津分会が中心となって 取組んでいる地域運動「かずさ住民の足を守る会」の総会が開催された。

主催者側として国労千葉地本の松田副委員長から、公共交通の利便性が著しく失う実態のなかで「かずさ住民の足を守る会」を発足させた。さらに活動していこう」とあいさつ。

この会の安田代表からは久留里〜上総亀山間の廃止が浮上した。「ワンマン化が進み、警報機のない踏切が目立つ。私たちは住民の立場に立って生活の足である久留里線を守るためにもその波をくい止めなければならぬ」とあいさつ。

その後、JRの実態報告がされた。内房沿線の過疎化で野生動物の生息域が拡大し、衝突事故が急増しており、異常時対応での運転士の負担は図り知れない。事故死した



動物は線路外に放置することが出来ず、線路の施工基面近くに埋葬している。久留里線では除草が追い付かない状況だ。

上総湊駅では高校生の下校時にホームが一杯になり、乗車を諦めた高校生や一般客もいたとのことだ。バリアフリー設備が整備されておらず、車イス利用者が跨線橋を渡る場合は、降車する駅より遠方の駅で降車し、折り返しせざるを得ないなど不便を強いられている実態が報告された。

最後は、かずさ住民の足を守る会の取り組みの報告を受けた後、引き続き現体制で活動を継続していくことを確認し閉会した。

新春労働講座 及び 旗開き



日時：2024年1月13日(土) 13:00~
場所：決定次第お知らせします

合国境

JR関係
の2023
年度年末手
当の回答が

東海を筆頭に出始めている。国労はJR東日本に10月13日「3.2ヵ月十五万円」の要求であった。職場の仲間からは、「3.2ヵ月は低いでしょう。物価の高騰、電気・ガス、ガソリンなど上昇分に見合った要求で最低3.5ヵ月分は必要でしょう。」との声が多い▼JR東日本の営業利益は対前年比126%であり、内部留保金は3兆円を超えている。コロナ禍を大変な思いで乗り越え、「安全・安定輸送」の確保に懸命になって努力した結果が、会社の順調な回復になっている。にも拘らず会社は、11月10日に2.65ヵ月十五万円の回答であった。社員・家族の思い、期待に応えてこそ、働きがい、士気が上がるのではないのか。▼自分自身国労組合員として限られた時間ではあるが、JR職場で働く若手社員、現在働いている職場の仲間とのかかわりを更にもって、労働運動の再構築に奮闘したい。

【優】

労働運動は労働者のためにある！

運輸区統合分会の東平さんの退職にあたってのあいさつ文が機関紙の「運輸区どうこう16号」に掲載されているが分会より寄稿され地本として永きにわたる功労に敬意を表す意味からも掲載させて頂くこととした。

労働運動は労働者の権利

1981年3月に国鉄成田駅に臨時雇用員として配属され、国鉄労働組合に加入し、以来42年と数か月間、「職場に労働運動を！」と自分なりに頑張ってきたつもりです。そんな自分が職場を去るにあたり最も心残りなことは、職場から労働運動が無くされようとしている事です。

日本は憲法28条に労働者の権利がはっきりと記されています。労働者一人対会社ではとても太刀打ちできないからこそ、盾となる団結権、武器となる団体交渉権・団体行動権が保証されています。そんな労働者の武器も防具も投げ捨てて丸裸になって怖くないのか、本当に不思議です。

ドイツには「ストライキ権がない労働協約は集団的物乞いに過ぎない」という判例があるくらいです。団体交渉権も団体行動権もない社友会幹部の「会社幹部への要望」は本当に集団的物乞いにすぎません。なぜそんなに卑屈になる必要があるのでしょうか。労働者は、真っ当に働き団結した力で正々堂々と交渉し、真つ当な賃金や労働条件を勝ち取るものです。

折しもアメリカでは全米自動車労組がストライキを執行し、25%もの大幅賃上げを勝ち取りました。彼らの闘う姿は報道による映像等でしか確認できませんでしたが、仲間を信じ笑顔で正々堂々と誇り高く闘っている様子にも見えました。あの姿が本来の労働者の姿だと思います。

現在もJR東日本の職場に籍のある国鉄労働組合の皆さん、職場で労組への組織化に奮闘している労働者に助言と助力を惜しまずしてあげてください。「もう職場を去るから後はどうだろうと関係ない」ではあまりに無責任です、自分の労働

者としての人生をティッシュで鼻をかんで捨てるに等しい行為です。結びに職場で明るく元気に働く青年の皆さん、労働組合は決して万能な特効薬ではありません。幹部任せの組織では何の薬にもなりません。職場の問題を職場で話し合い、要求を作り上げていくその過程で働く者同士の信頼が広がっていく。そうやっていけば労働者を心身ともに健康にする薬になります。

労働者としての誇りを胸に！

わたし敬愛するミュージシャン・忌野清志郎の「誇り高く生きよう」という曲の歌詞に「勇気がほら湧いてくるよ 朽ち果てそうだった心に 誇り高く生きよう 喜びにあふれ」とあります。今、職場で朽ち果てそうになっている人も働く者同士の信頼関係を再生し、「職場に労働運動」が復活すれば勇気が湧いて喜びにあふれるはずですよ。労働者として誇り高く生きてください。心から応援しています。

人手不足は労働環境改善から

8月に定年退職し9月から畑違いのCTS（千葉鉄道サービス）へエルダー出向した。仕事の内容は快速列車のグリーン車の席回し（座席の方向転換と車内清掃、トイレ掃除だ。席回しの1回の所要時間は5分程度だが10数本の列車の席回しをするため、力仕事と無縁だった体には大変きつく湿布のお世話になってい

車内清掃はホーム留置が増える24時すぎからが戦場だ。電車の運転士は、我々の清掃作業にはお構いなしに車両の電力を落としてしまつたため、夜釣りを使うようなヘッドライトの明かりを頼りに暗い車内を清掃しなくてはならない。エアコンも止まり焦りと暑さで滴り落ちた汗が目に入り半べそ状態で清掃している。やっこのこと

仕事を終え帽子を見たらしみ込んだ汗が塩を噴いて白くなっていた。厳しい労働環境のため



め辞めていく社員も多いが補充は無く、年休消化もままならない状態だ。このまま後5年間、働き続けられるのか不安を抱えながら日々の仕事をこなしている。

これで社員の労苦に報いているのか？

【2023年度年度末手当回答状況】

会社名	本年度実績	前年度実績	支払日	前年比
北海道	1.94ヵ月	1.70ヵ月	12月14日	0.24ヵ月増
東日本	2.65ヵ月 +5万円	2.40ヵ月 +2万円	12月4日	0.25ヵ月増
東海	2.95ヵ月	2.70ヵ月	12月8日	0.25ヵ月増
西日本	2.10ヵ月	1.80ヵ月 +3万円	12月8日	0.30ヵ月増
四国	1.65ヵ月	1.43ヵ月	12月7日	0.22ヵ月増
九州	2.3ヵ月 +0.20ヵ月	1.90ヵ月 +2万円	12月8日	0.60ヵ月増
貨物	1.63ヵ月	1.62ヵ月	12月7日	0.01ヵ月増
ソフトバンク	2.50ヵ月	2.50ヵ月	12月15日	同月数

共済担当からのお願い

契約内容の確認や加入・変更の手続き、マイカー共済ロードサービスの受付やマイカー共済自動車事故受付などをスマートフォンで行うことが出来ます。

アプリをインストールして有効活用をお願いします。



● ログイン・登録の下にある「マイページはこちら」をタップ

● ページの手厚に沿ってマイページ登録

登録完了後、アプリを立ち上げ、ID、パスワードを入力してログイン